

第15期第2四半期 株主通信

〔 2012年4月 1日から
2012年9月30日まで 〕



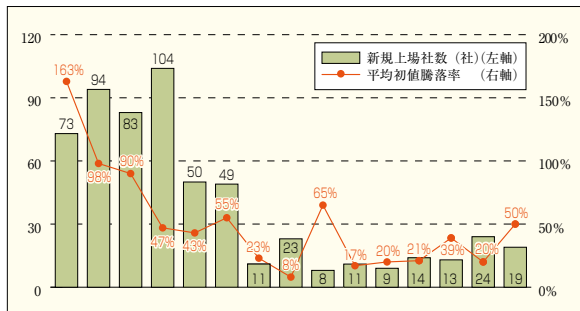
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

株主の皆さまには、平素より当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに2013年3月期第2四半期の当社を取り巻く環境及び活動の状況をご報告申し上げます。

日本国内における当期の新規上場社数は19社となり、前年同期の13社より増加し、初値が公募価格を下回った企業も2社に止まるなど、回復の兆候が見えております。しかしながら、直近ピークであった2006年度下期の104社から大きく減少している点は変わりなく、引き続き新規上場を目指す企業群にとりましては厳しい環境が続いております(下図)。

当社におきましては、2012年11月に(株)ありがとうサービスが上場し、2011年3月期から3期連続で上場企業を輩出しています。

新規上場市場の状況(半期ごとの数値を記載)



初値騰落率 (初値-公募価格)÷公募価格×100

(株)ありがとうサービスが上場しました



2007年に投資した(株)ありがとうサービスが、JASDAQに上場しました。公募価格1,170円に対し、初値1,302円を付けたため、公募価格に対する初値倍率は1.1倍となり上々の滑り出しとなりました。

同社は「HARD OFF」や「BOOK OFF」、「モスバーガー」等、複数ブランドのフランチャイズ店舗の運営を行ういわゆるメガフランチャイジーです。愛媛県今治市に本社を有する同社は、えひめベンチャーファンド2004の投資先12社のうち、累計4社目の上場企業となりました。

いまだ厳しい経営環境にある中、当社は早期黒字化に向けた取り組みとファンドパフォーマンスの向上に注力しております。

まず、既存事業において、2012年8月に2007年6月以来となる、もりおか起業投資事業有限責任組合(以下、「もりおかファンド」という)を設立しました。もりおかファンドは、盛岡広域地域の起業家や創業間もない企業へ投資する、地方ではあまり例のない創業支援ファンドです。設立時のファンド総額は50百万円と小規模ではありますが、これを契機に他地域で同様のファンド組成を模索します。他にも既存ファンドの後継となるベンチャーファンドなど、引き続き新規設立に向けアプローチしています。

新たな取り組みとしては、2011年7月京都市内中心部にオープンしたシェアオフィスにSOHO向け個室フロアを増床したほか、当社の拠点周辺にて複数のインキュベーションオフィス運営の案件が進捗しています。また当社がこれまでに培ったノウハウを活かし、ファンド運営のコンサルティングサービス提供やファンドの管理受託に着手しています。これらの事業は大きな収益とはなりません、既存事業に比してリスクが小さく、安定的な収益源となります。

こうした新たな収益源の獲得に向けた取り組みを行う一方、経費削減についても継続しており、当期の固定的費用は159百万円と前期比15.6%減少しています。

次に、ファンドパフォーマンスの向上に向けては、未上場投資先からの回収効率を上げるべく、M&Aアドバイザー業者と連携し、売却候補先の増強に努めております。育成支援については、引き続き投資先の選別を進め、投資収益が期待できない企業は売却を推進し、重要投資先への支援を一層強化しながら、企業価値向上に努めます。

こうした施策を通じ、事業収益の改善に向け、努力を重ねてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

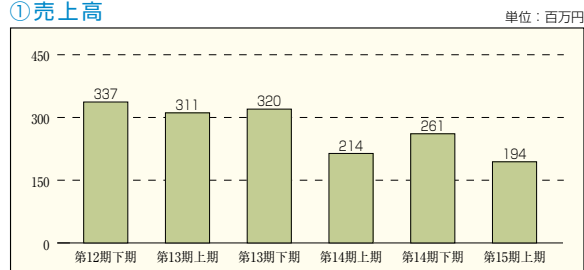
2012年12月
代表取締役社長 今庄 啓二

本資料における記載数値について

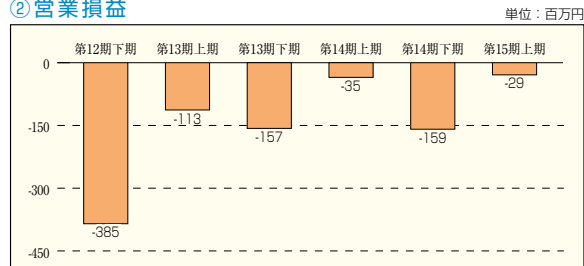
当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載しております。

業績ハイライト

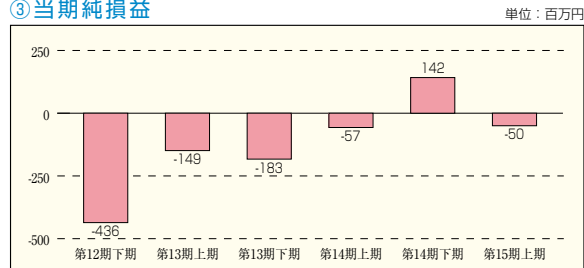
① 売上高



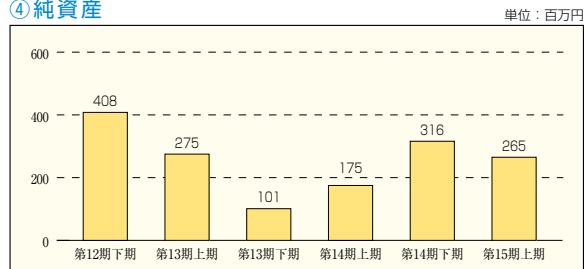
② 営業損益



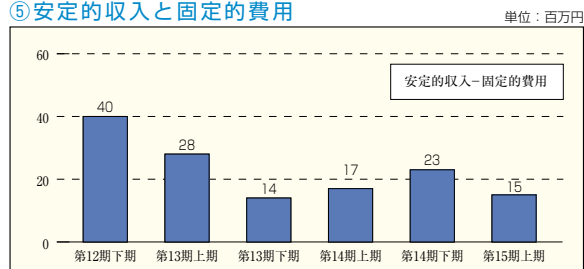
③ 当期純損益



④ 純資産



⑤ 安定的収入と固定的費用



当期の業績を見てまいりますと、投資事業組合から受領する管理報酬が減少したことを受け、売上高は194百万円、前年同期及び前期比ともに減収となりました（3頁①）。一方、営業投資有価証券に係る投資損失引当金の新規繰入額が大幅に減少したことから、営業損失は29百万円（3頁②）、当期純損失は50百万円（3頁③）となり、前年同期比でわずかに改善しました。

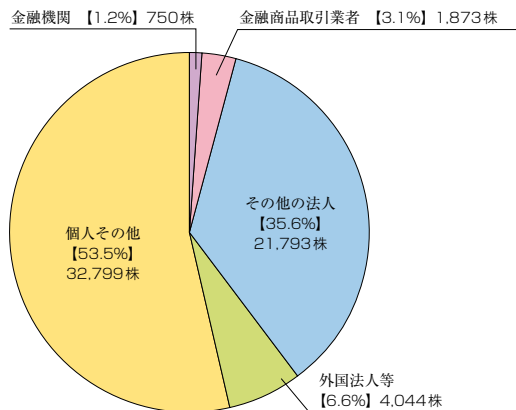
当期末時点の純資産は、前期比16.0%減の265百万円となりました（4頁④）。

なお、当期におきましても営業損失を計上しておりますが、前期に続き、販売費及び一般管理費等の固定的な支出をファンドからの管理報酬を中心とした安定的な収入によって賄う状態を維持しております（4頁⑤）。

株式データ

- 発行可能株式総数 180,000株
- 発行済株式の総数 61,259株
- 株主数 1,352人

所有者別株式分布表



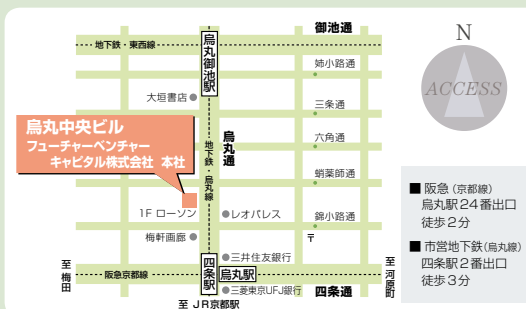
大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
1 株式会社カネカ	11,024株	18.0%
2 川分 陽二	2,869株	4.7%
3 Total Network Holdings Limited (常任代理人 栗林総合法律事務所)	2,691株	4.4%
4 古川 令治	2,570株	4.2%
5 古我 知史	2,244株	3.7%
6 坂本 友群	2,146株	3.5%
7 賀川 正宣	1,808株	3.0%
8 関西サービス株式会社	1,800株	2.9%
9 藍澤證券株式会社	1,620株	2.6%
10 J C W株式会社	1,477株	2.4%

(注) 1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2012年9月30日現在、自己株式を12株保有しております。

会社の概要 (2012年9月30日現在)

- 商 號 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
- 設 立 1998年9月11日
- 資 本 金 20億4,860万円
- 従 業 員 数 26名
- 本 社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル
- 管 理 部 TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
- 営 業 部 門 TEL:075-257-6656 FAX:075-211-6965



- 東京事務所 〒105-0001
東京都港区虎ノ門二丁目7番5号
ビュレックス虎ノ門2階
TEL:03-6205-4388 FAX:03-3597-4880
- 地 域 拠 点 青森事務所 岩手事務所 山形事務所
三重事務所 堺事務所 愛媛事務所

役員

代表取締役社長	今庄 啓二	取 締 役	鈴木 智久
取 締 役	小川 淳	取 締 役	松本 直人
常勤監査役	木村 純	監 査 役	岡部 陽二
監 査 役	小川 忠久		



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル
TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
<http://www.fvc.co.jp/>